

2月28日

ラッピング自動販売機でSDGsをPR

市政



市版SDGs（持続可能な開発目標）をPRする自動販売機が市役所本庁舎前にお目見えしました。自動販売機を設置する㈱ミチノクから、市にラッピングの提案があり実現したものです。自動販売機には、市版SDGsのロゴのほか、市特産品のイラストなどが描かれており、身近なところから普及に努めています。

3月8日～18日

奥州大使紹介パネル展を開催

イベント



市では、奥州大使の活動や市民の皆さんへのメッセージを紹介するパネル展を開催しました。奥州大使は、市に関する情報を全国に発信し、市が発展するための情報提供や助言をしてもらう制度で、各界で活躍されている12人に委嘱しています。今後もご自身の活動の中で市の魅力を発信していただきます。

3月13日

歴史ある鬼剣舞団体が勇壮な踊りを披露

イベント



ユネスコ無形文化遺産の登録に向け、「風流特別公演会」が胆沢文化創造センターで開催されました。鬼剣舞連合保存会に所属する奥州市と北上市の団体が伝統の舞を披露。当市からは胆沢小山の「朴ノ木沢念仏剣舞保存会」と衣川の「川西大念佛剣舞保存会」が出演し、来場者は勇壮な踊りに魅惑されていました。

3月18日

旧安倍家住宅が国登録有形文化財へ

市政



水沢字日高小路にある旧安倍家住宅の主屋、板蔵、土蔵、表門、庭門が国の登録有形文化財に登録される見通しとなりました。明治前期から大正後期に建築された旧安倍家住宅は、文化審議会で「技巧を凝らした二階座敷など数寄屋風の意匠を施し、見どころが多い。近世武家住宅の系譜を見て取れる」と評価されました。

3月19日

学びやへ感謝の花火打ち上げ

イベント



3年度末で44年の歴史に幕を下ろした江刺南中学校に感謝を伝えようと、「天に放つギフト」と題し花火の打ち上げが行われました。同校PTAや藤里・伊手の両振興会が企画し、地域住民や同窓会、地元事業者などから協賛を募り開催。生徒や地域住民らは、花火を見上げながら学びやでの思い出を巡らせていました。

3月19日

地域課題の解決に向けた活動成果を発表

イベント



市協働のまちづくりアカデミー7期生の修了式が水沢南地区センターで開かれました。7期生は20～50代の市民13人。8月からは2つの班に分かれ、地域課題解決に向けた活動を行いました。成果発表では、SNSを活用した情報発信や世代間交流を創出するイベントの開催など、奥州愛であふれる発表が報告されました。

3月20日

柴田常子さん100歳（前沢字二十人町）

百寿



前沢で生まれ、25歳の時に故・清人さんと結婚。3人の娘をもうけ、孫5人、ひ孫12人に恵まれています。一番の楽しみは週2回デイサービスに行くこと。11年間欠かさず通っています。「みんなに支えてもらい楽しく生活できている。みんなと遊ぶことが楽しみ」と、百歳を迎えた喜びを語りました。

3月21日

千田ナヨミさん100歳（江刺米里）

百寿



江刺田原で生まれ、19歳の時に武雄さんと結婚。2男2女をもうけ、孫8人、ひ孫10人に恵まれています。会話が大好きだというナヨミさん。週2回のデイサービスでは、利用者や職員の皆さんとの交流を楽しみにしているそうです。「たくさんの方々にお祝いでいただきありがとうございます」と笑顔を見せていました。

3月23日

ありがとう広瀬保育所閉所式で園児呼び掛け

イベント



市立広瀬保育所が3年度末で52年の歴史に幕を下ろしました。卒園式と同日に開催された閉所式では、佐藤政幸所長が「当たり前と思っていた風景が終わりを迎え、一日一日が大切な思い出の日だった」と振り返りました。また、3歳以上児16人が、保育所での思い出の呼び掛けと歌で保育所への感謝を伝えました。

3月24日

小野寺清子さん100歳（衣川岩の上）

百寿



前沢で生まれ、21歳の時に故・勇基さんと結婚。1男2女をもうけ、孫9人、ひ孫12人、やしやご2人に恵まれています。衣川村長を務めた夫を支え続けた清子さん。長寿の秘訣は規則正しい生活と健康的な食事と語ります。「自分でもこんなに長生きすると思わなかった。ありがとう」と優しい笑顔で感謝を伝えました。

3月26日

地域と共に歩んだ保育所57年の歴史に幕

イベント



市立梁川保育所閉所式が同所で行われました。昭和40年に2寺院に開設されていた季節保育所の統合で誕生した同所。式は新型コロナウイルス感染防止の観点から職員と来賓のみで行われました。及川徹所長はこれまでの歴史を振り返りながら「閉所は寂しいが、子どもたちには明るく元気に育ってほしい」と語りました。

4月1日

住民の権利を守る成年後見制度の拠点誕生

イベント



奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンターが市総合福祉センター北側別棟に開所しました。同センターは両市町が共同で設置したもので、市社会福祉協議会が運営をします。同会の田面木茂樹会長は「制度の普及啓発や相談窓口などの強化に尽力したい」とあいさつ。権利の支援活動や制度の利用促進などを行います。

※街 diary 内での百歳を迎えられた人のご紹介は本号で終了します。次号からはインフォメーション内でお名前などをご紹介します。